



## 「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム」への参画について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、「自然関連情報開示タスクフォース（以下、「TNFD<sup>※</sup>」という。）の取組みに賛同し、TNFD フォーラムに参画しましたので、お知らせします。

TNFD は、企業が自然に関連した情報開示を行うことにより、資金の流れを「ネイチャー・ポジティブ」（自然に対して良い影響）へ転換させることをめざしており、TNFD フォーラムは、そのような TNFD の議論をサポートするステークホルダー組織です。

当行は、「気候変動等、環境課題への取組み」を当行グループのマテリアリティ（重要課題）として掲げており、環境保全は、持続可能な社会を実現する上での大前提と考えています。

当行が主たる営業基盤とする香川県は、北は多島美を誇る瀬戸内海に面しており、また南に連なる讃岐山脈から広がる讃岐平野には、ため池や円錐形の里山が点在する田園地帯を持つ、豊かで多様な自然に恵まれた地域です。

当行は、TNFD フォーラムへの参画を通じて、自然関連の財務情報を開示する枠組みの構築に貢献するとともに、香川県をはじめとする自然資本や生物多様性の保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

(※) TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)。国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)、国連開発計画(UNDP)、イギリスの環境 NGO Global Canopy、および世界自然保護基金(WWF)により 2021 年 6 月に正式に発足した、自然資本や生物多様性に関連した幅広い情報開示の枠組みの開発・提供を目指す国際イニシアチブ。

以 上

